

これが現場社員の声だ！

将来も考えるなら人材にお金をかけるべき！

現場で働く社員の切実な生活実態や、業務場面での苦勞を訴えて頂いた交渉に思えました。
会社がどれだけこの交渉の議論を反映するのか分かりませんが、「ボーナスが低額回答なのでは…」と怯えている人には、勇気を与える交渉だと思いました！

会社はマイナス情勢しか言わない。口を開けば赤字と言っている。そして社員にはさまざまなチャレンジをして欲しいと尻をたたき。赤字ということで、施策の見直しをしているようだが、全体的に見れば「赤字の中、今それが必要なのか？」と疑問符がつく。会社は将来的な設備投資を行うと言っている。しかし人件費はマイナス。

組合の言う通り、将来的にも人材にお金をかけるべきだし、今年の冬もそのようにしなければいけないと思う。
新規採用を上回る退職者。内内定しても辞退される会社。外部から魅力のない会社と見られていることを自覚すべきだと思う。
人材を大切にしない会社に将来はないと思う。

会社はいつも通りネガティブな事を言っていますが、交渉団の理性的な分析と現場の声をもって覆して貰ったと言う印象を受けました。

現場の努力があって「変革 2027」の前倒しや、社債・コマーシャルペーパーを発行できる安定的な体力を付けることが出来たという事を、感謝の言葉だけでなく、一時金と言う形で見せて欲しいです。
あと、赤字だというなら「成績率の増額」は本当に要らないと思う。

